

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
荻野利彦
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

菊地 臣一
編集委員
金谷文則
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
土屋弘行
戸山芳昭
内藤正俊
吉川秀樹

編集同人

井形高明
生田義和
井樋栄二
岩田 久
岩本幸英
大井利夫
小野村敏信
加藤博之
金田清志
腰野富久
紺野慎一
榊田喜三郎
酒匂 崇
桜井 実

澤村 誠志
田辺剛造
田畑四郎
玉置哲也
中村耕三
馬場久敏
浜西千秋
廣谷速人
佛淵孝夫
三笠元彦
三浦隆行
持田讓治
山田治基
吉川靖三

この原稿を書いている今は2月中旬, “春は名のみ風の寒さや”, 早春賦そのものの時季です。あれから1年, 終わりのない闇の中を走ってきたようでもあり, 息つく暇もなかったようでもあります。読者にはどんな1年だったのでしょうか。

私には, 掛け値なしの「身を削った1年」でした。想像を絶した混乱の中で, 「逃れられぬ客なら笑って迎えよ」という気持ちで過ごした年月でもありました。自らに課した目標を果たして, 心満ちて燃え尽きた時, 体調を崩してしまいました。ただ, 学ぶことの多い1年でもありました。国民の多くが, 忘れられない何かを失い, そして何かを得た時だったのではないのでしょうか。

「次の世代に伝えることを記録せよ」と関係者に言ってきた立場から, 自分自身も何か残しておかなければなりません。教訓の一つは, わが国には複合災害に対する備えが全くなかったことです。況んや, 原発事故は誰にとっても想定外の出来事だったようです。事故が起きてからの, 「だから…」といった類(たぐい)の様々な言説を私は信用しません。二つめは, 作業の効率化を求めるあまり, どの部署にも余力が全くなっていたことです。自衛隊, 警察, 救急, 行政, そして病院も例外ではありませんでした。これらのことは, 政府の然(しか)るべき人々が考えてくれているはずでしたが, 実態はそうではありませんでした。われわれ一人ひとりが真剣に考えて, 将来に備えて負担を分かち合う時です。

本誌は3月号, 3月は別れと旅立ちの季節です。この大惨事をどう咀嚼して受け入れ, どのような形で今後の人生に生かすか, 一人ひとりが問われています。想像すらできなかった惨禍に直面した時, 人は全人格をかけた自分の生き方を問われます。今回もそうでした。私自身は, 踏み止まり, おれずに, そしてそこで立ち続けることの大切さと困難さを学びました。

“被曝しつつ放水をせし自衛官 その名はしらず記憶にとどめよ”(長谷川権)

この歌を読む時, 当時の感覚が体内に今でもにわかに蘇ってきます。

最後に, 今回の震災での現場の人々の勇気, 忍耐, 覚悟の働き振りをみて, 子供も含めてわが国の人々の雄々しさに, 志の大切さを教えてもらいました。

本誌の特集は, 「大震災と整形外科医」です。読者は, 自分自身の経験や人生観と照らし合わせて読んで下さい。そして, 一時, その先にあるわが国の整形外科の, そして学会組織のあるべき姿へ思索を広げて戴けると, この企画は成功です。(菊地臣一)

臨床整形外科 (第47巻第3号)

2012年3月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,625 円(本体 2,500 円+税 5%)

2012年 年間購読料(税込, 送料弊社負担)

冊子版 29,400 円

冊子+電子版/個人 34,400 円

冊子+電子版/共有 38,900 円

電子版/個人 29,400 円

電子版/共有 33,900 円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

オンライン投稿 ID: rinseige パスワード: rinseige

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当: 石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2012, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。